

あなたはひとりじゃない

～私たちはあなたの味方です～

鹿児島市は、配偶者暴力相談支援センターを開設しました

支援内容

- 配偶者等からの暴力の相談
- DV被害者の自立に向けた情報提供や援助、来所相談証明書などの発行
- 緊急時の安全を確保するための相談
- 保護命令手続きの支援



男性のための悩み相談 男性のDV相談は男性相談員が応じます。(面接・要予約)

サンエールかごしま相談室 ☎099-813-0853

[受付時間] / 火・木～日曜日…10:00～17:00 / 水…10:00～20:00

※サンエールかごしま休館日(月曜日、月曜日が祝日の場合翌日、12/29～1/3)はお休みです。

相談無料
秘密厳守

その他のDV相談窓口

鹿児島市女性相談 (こどもと女性の相談室内)	月～金曜日	8:30～17:15	☎099-216-1263 (市役所内)
鹿児島市谷山福祉部福祉課	月～金曜日	9:15～16:00	☎099-269-8473 (谷山支所内)
鹿児島県女性相談センター (配偶者暴力相談支援センター)	月～水・金曜日	8:30～17:00	☎099-222-1467
	木曜日	8:30～20:00	
	日曜日	9:00～15:00	
鹿児島県男女共同参画センター (配偶者暴力相談支援センター)	水～日曜日	9:00～17:00	☎099-221-6630 ☎099-221-6631 (かごしま県民交流センター内)
	火曜日(休館日の翌日)	9:00～20:00	

身の危険を感じたら、警察への相談をおすすめします。
緊急の場合は 110 番へ!

もし、DVを相談されたときは…

「あなたは悪くない」
「あなたはひとりではない」
「いつでも力になるからね」と伝えてください。

秘密は守ってください。

そして、専門の相談機関があることを教えてあげてください。



事業報告

男性の育児参加の在り方について学ぶ 男女共同参画週間フォーラムを開催

第1部・講演会

「妻が僕を変えた日～男性も子育て、女性も自分育て～」



講師の広岡守穂さん

第1部の講演会では、中央大学法学部教授で、5人の子どもを育てた広岡守穂さんが「妻が僕を変えた日～男性も子育て、女性も自分育て～」のテーマで話しました。

広岡さんは、ご自身の経験から、「子育てに関して夫と妻の間にズレがある。自分は、妻は子どもと一緒にいることが嬉しいのだと思い込んでいた。だから、自分の時間を持ちたいという妻の思いに全く気付かず、妻を追い詰めていた。」と話され、夫婦はお互いに気持ちを率直に話し合うこと、それぞれが相手に寄り添って聴く(傾聴)とともに、自己表現(アサーション)を身につけることも大切であると強調しました。また、夫が父親として子育てするのは当然だが、同時に妻の「自分育て」のサポートをする役割があることなど、「育児」をするイクメンから「子育てする母親(育母)」を支えるイクメンになってほしいと、ベストメン賞受賞者らしいメッセージで締めくくりました。



男性の参加も多かった講演会

第2部・調査研究支援事業報告会

「男性の育児参画意識と社会環境の整備実態」

第2部では、鹿児島市男女共同参画センター調査研究支援事業として、鹿児島大学医学部保健学科学学生らの「イクメンサポート研究会」(下敷領須美子代表)による「男性の育児参画意識と社会環境の整備実態」の調査結果が報告されました。

この調査結果は、父親の子育てに関する意識と行動や男性が子育てを行う際の公共施設・商業施設の環境整備状況などの五つのテーマについて学生たちが、父親の生の声を聞き、施設に足を運び、データを収集してまとめられました。

報告では、父親の子育てへの積極的参加を阻む要因として、「性別役割分担意識や3歳児神話が未だ根付いていること」「子育てをしながら働くための労働環境が整っていないこと」「社会全体の経済状況が悪いこと」「父親に対する社会・精神的サポート体制が不足していること」を指摘しています。

また、公共施設・商業施設などの設備環境の充実により父親も子どものケアをしやすくなり、父親の子育ての幅が広がると指摘しています。



男性の育児参画意識などを報告したイクメンサポート研究会のメンバーら

サンバのリズムに乗って
パパと踊ろう

Happy Smile seminar

「パパ大好き♡泣く子も笑うハッピースマイルセミナー」と題して、父親が楽しく育児参加しながら赤ちゃんとのコミュニケーションを図るセミナーが開かれました。

7月14日に開かれた3回目のセミナーは、保育士で日本ベビーダンス協会認定インストラクターの鳥越紫づ花さんを講師に迎え、行われました。参加したのは、生後6カ月～2歳の赤ちゃんとその父親たちで、いずれもベビーダンスは初めて。赤ちゃんを仰向けにしてリラックスさせた後、スリングで抱っこして、サンバの曲に合わせてベビーダンスを開始しました。

初めは泣いていた赤ちゃんも踊っているうちに気持ちよさそうな表情になり、やがてほとんどの赤ちゃんがすやすやと眠ってしまいました。

講師の鳥越さんは、「上下の動きは、赤ちゃんがお腹にいるころの揺れに似ている。パパが歌いながらダンスをすると、パパの声を覚えるので親子のコミュニケーションを深めるのに効果的」とアドバイスしました。



赤ちゃんを抱っこしてベビーダンスを楽しむパパたち